

令和 7 年度事業報告書

令和8年6月13日

公益社団法人
愛 知 県 医 師 会

事業に関する報告書

令和7年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

前年度末会員数(令和7年3月31日現在)	11,080 名	
入 会	989 名	
退 会	683 名	
死 亡	85 名	
会員数(令和8年3月31日現在)	11,301 名	〈別表1 参照〉

2. 文書の収受、発送

収 受	8,250 件
発 送	405,461 件

3. 会員の荣誉

(1) 令和7年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り荣誉をたたえました。

瑞宝双光章	大 原 憲 一 殿
旭日双光章	檜 尾 富 二 殿
旭日双光章	野 田 正 治 殿

令和7年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り荣誉をたたえました。

瑞宝小綬章	服 部 義 殿
旭日双光章	小 出 義 信 殿

(2) 令和7年難病の学術的研究の功績に対し記念品を贈り表彰いたしました。

名古屋大学 大学院医学系研究科	
小児外科学 教授	内 田 広 夫 殿
名古屋市立大学 大学院医学研究科	
地域医療学分野 教授	兼 松 孝 好 殿
藤田医科大学 医学部	
リウマチ・膠原病内科講座 教授	安 岡 秀 剛 殿

4. 物故会員

本年度(令和7年4月～令和8年3月届出分)の物故会員は85名でありました。〈別表2 参照〉
謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 2 回

- ◆ 愛知県医師会第199回(定例)代議員会を令和7年6月14日(土)岡谷鋼機名古屋公会堂4階ホールにおいて開催し、次の議事を行いました。

報 告

- (1) 令和6年度事業報告
- (2) 令和6年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況報告

議 事

- 第1号議案 令和6年度決算に関し承認を求めるの件

協 議

- ◆ 愛知県医師会第200回(臨時)代議員会を令和8年3月21日(土)中日ビル6階ホールにおいて開催し、次の議事を行いました。

報 告

- (1) 令和8年度事業計画報告
- (2) 令和8年度予算報告
- (3) 令和7年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況報告

議 事

- 第1号議案 令和8年度会費の賦課徴収に関する件
- 第2号議案 令和8年度会費減免申請に関する件
- 第3号議案 令和8年度入会金の賦課徴収に関する件
- 第4号議案 公益社団法人愛知県医師会定款の一部改正に関し承認を求めるの件
- 第5号議案 公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正に関し承認を求めるの件

(2) 理事会 39 回

- ◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。

内容については、その都度、愛知医報及び本会ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・ 医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会(Web会議 2回) 2 回

「現代医学」誌座談会 2 回

指導医のための教育ワークショップ 1 回

治験審査会 12 回

・ 医師の生涯教育

生涯教育委員会(Web会議 1回) 1 回

・ 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究
(調査室)

調査室委員会(Web会議 19回) 19 回

保険医協会との懇談会 6 回

(愛知県医師会地域医療政策研究機構)

愛知県医師会地域医療政策研究委員会 6 回

・ 公衆衛生の指導啓発

健康教育委員会(Web会議 4回) 4 回

環境衛生委員会(Web会議 4回) 4 回

感染症及び結核講演会 1 回

感染症(HIV医療講習会)・予防接種研修会 1 回

愛知県広域予防接種事業運営委員会(Web会議 4回) 4 回

・ 地域医療の推進発展

四大学連絡協議会 1 回

愛知県地域医療構想推進委員会 2 回

地域医療構想の進め方に関する研修会 3 回

難治性疾患委員会(Web会議 1回) 1 回

難病講習会 1 回

難病講演会 1 回

警察部会幹事会 1 回

麻薬等に関する懇談会 1 回

勤務医部会幹事会(Web会議 5回) 6 回

愛知県糖尿病対策推進会議(Web会議 1回)	1 回
小児在宅医療推進企画委員会(Web会議 3回)	3 回
小児在宅死亡例検討ワーキンググループ(Web会議 4回)	4 回
あいち小児在宅医療実技講習会	1 回
海部・津島小児在宅医療講習会	1 回
名古屋小児在宅医療講習会	1 回
せん妄・認知症対策研修会	2 回
摂食・嚥下機能支援に関する研修会	1 回
愛知県医師会ACP普及研修検討委員会(Web会議 1回)	2 回
愛知県医師会ACP普及研修会	1 回
・ 救急医療・災害医療対策	
救急委員会(Web会議 9回)	9 回
愛知県医師会JMAT研修小委員会(Web会議 4回)	4 回
愛知県医師会JMAT研修打合せ会(Web会議 1回)	1 回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7 回
救急医療・災害医療シンポジウム	1 回
愛知県救急医療推進大会	1 回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1 回
愛知県医師会ICLS研修会	1 回
愛知県災害医療コーディネート研修	2 回
愛知BHELP標準コース	1 回
愛知県医師会PTLS講習会	1 回
愛知県医師会JMAT研修	1 回
小児救急に関する研修会	2 回
こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	1 回
小学生のための救急蘇生法講習	15 回
小児救急連携体制協議会(Web会議 3回)	3 回
先天性心疾患の診療体制を検討する会	1 回
・ 地域保健の向上	
産業保健部会幹事会(Web会議 5回)	5 回
学校保健部会幹事会(Web会議 4回)	4 回

学校保健部会学校健診委員会(Web会議 4回)	4 回
学校保健健診懇談会	1 回
学校保健シンポジウム	1 回
心電図精度管理調査解析検討会	1 回
令和8年度定期健康診断における精度管理説明会(Web会議 1回)	1 回
小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会	1 回
令和8年度 第57回全国学校保健・学校医大会に関する検討委員会(Web会議 6回)	6 回
母体保護法指定医師審査委員会(Web会議 6回)	6 回
母体保護法指定医師講習会	3 回
・ 医療保険・介護保険の充実	
(医療保険関連)	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	4 回
社保指導委員会(Web会議 5回)	6 回
保険診療勉強会	1 回
(介護保険関連)	
地域医療介護委員会(Web会議 6回)	6 回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1 回
認知症地域医療研修検討委員会(Web会議 6回)	6 回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3 回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2 回
認知症サポート医フォローアップ研修	1 回
産業医向け若年性認知症支援研修	1 回
認知症対応病院ピアレビュー事前説明会	1 回
認知症対応病院ピアレビュー活動報告会	1 回
・ 医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12 回
医療安全対策(小)委員会	4 回
医療安全に関する講演会	1 回
医療安全対策委員会勉強会	1 回
医療従事者のためのハラスメント実技研修	1 回
県民のための医療安全講演会	1 回

医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会	12 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)小委員会	3 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)講演会	2 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会	2 回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会	1 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会	2 回
医療対話推進者養成セミナー～医療コンフリクト・マネジメントアプローチ～ 医療メディエーションの理論と技法 実践基礎編研修 (医療メディエーター研修)	1 回
医療事故調査制度に関する研修会	1 回
医療事故調査制度コーディネーター養成研修会	1 回
医療事故調査制度コーディネーターブラッシュアップ研修会	1 回
・ 医療施設の整備	
精度管理委員会(Web会議 2回)	2 回
精度管理(小)委員会(Web会議 1回)	1 回
精度管理研修会	1 回
共同施設委員会(Web会議 1回)	1 回
・ 会員の福祉の向上	
会員相談窓口事例検討会	1 回
・ 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動 (渉 外)	
中部医師会連合常任委員会	13 回
中部医師会連合常任委員会懇談会	2 回
中部医師会連合日医代議員協議会	2 回
中部医師会連合委員総会	1 回
中部医師会連合社会保険特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合地域包括ケア特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合会員増強特別委員会	1 回
中部医師会連合災害医療担当理事連絡協議会	1 回
中部医師会連合勤務医担当理事連絡協議会	1 回
中部医師会連合女性医師支援ドクターバンク連携事業中部ブロック会議	1 回

中部医師会連合共同利用施設連絡協議会	1 回
関西医師会連合常任委員会	1 回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会(Web会議 4回)	4 回
情報セキュリティ研修会(Web会議 1回)	1 回
(広 報)	
広報委員会(Web会議 8回)	9 回
医師会史編集委員会(Web会議 5回)	5 回
・ 医師・医療従事者対策	
(勤務環境改善支援)	
愛知県医療勤務環境改善支援センター運営協議会(書面開催 1回)	3 回
医療機関に対する働き方改革セミナー	3 回
特定労務管理対象機関を対象とした意見交換会(Web会議 4回)	4 回
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会(Web会議 5回)	5 回
医学生、若手医師と地域医療を考える会(Web会議 1回)	1 回
愛知県医師会 研修医ウェルカムパーティ	1 回
(医療従事者対策)	
医療関連職検討委員会(Web会議 1回)	1 回
愛知県看護協会との懇談会	1 回
学校法人電波学園あいちビジネス専門学校の日本医師会認定医療秘書養成に関する運営委員会	1 回
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 令和7年度医療保険請求事務実技試験委員会(Web会議 3回)	4 回
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 令和6年度会計監査(Web会議 1回)	1 回
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 令和7年度常任委員会	2 回
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 令和7年度定例総会	1 回
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 令和7年度運営委員会	2 回
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 令和7年度 日本医師会医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する検討会(Web会議 2回)	2 回
医療事務員講習会(Web会議 14回)	15 回

医療事務員資格認定試験	1 回
・ 会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	8 回
議事運営委員会(Web会議 1回)	2 回
人事委員会	1 回
選挙管理委員会	1 回
定款諸規程等検討委員会	2 回
監事会	1 回
臨時監事会	1 回
・ その他	
愛知県医師会DX推進プロジェクトチーム会議	1 回
愛知県医師会館建設委員会	3 回
愛知県医師会館建設小委員会	16 回

2. 業 務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 5月3日(土・祝)～5月6日(火・祝)における休日急病診療所の実態調査
- 4) 令和7年度年末年始(令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日))における休日急病診療所の実態調査
- 5) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 6) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 7) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 8) 救急医療にかかる担当部署メールアドレス調査
- 9) 医療事故調査制度にかかる担当部署メールアドレス調査
- 10) 中部7県・大都府県における個別指導等の状況に関するアンケート調査
- 11) 中部7県における個別指導の実施体制に関するアンケート調査
- 12) 在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査
- 13) 小児時間外救急の実態調査
- 14) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 15) アナフィラキシーに関するアンケート調査
- 16) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査
- 17) 学校医・園医報酬調査
- 18) 緊急避妊薬を販売する薬局・店舗販売業の店舗における近隣の産婦人科医等との連携体制の構築に関する調査
- 19) 愛知県下四大学病院病理部門におけるご遺体の取り扱いに関する調査

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・ 愛知医報
- ・ 「現代医学」誌 72巻1号・72巻2号(Web版・オープンジャーナル)

(3) 医学教育の向上

- ・ 現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、「現代医学」誌72巻1号(6月26日発行)及び72巻2号(12月17日発行)の掲載内容を検討いたしました。また、72巻1号及び72巻2号は、オープンジャーナルとして本会ホームページ「医師の皆さまへ」において広く公開いたしました。

- ・ スポーツ医学

- 1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを行い、新規15名、更新19名が認定を受けました。
- 2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを行い、1件の認定を受けました。
- 3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を下記のとおり開催いたしました。

9月24日(水)	栄ガスビル	キングルーム	参加者:28名
1月16日(金)	栄ガスビル	キングルーム	参加者:28名

- ・ 治験推進事業

- 1) 先駆的な新薬開発に携わるという学術的な意義を会員に理解していただくことを目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。
- 2) 主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、治験審査会を開催いたしました。

- ・ 倫理委員会

迅速審査を行い、4件のうち3件については研究継続中のため引き続き経過観察が承認されました。1件については研究が終了いたしました。

(4) 医師の生涯教育

- ・ 生涯教育

- 1) 「日本医師会生涯教育講座」を8月～1月に8回開催いたしました。〈別表3 参照〉
- 2) 令和7年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を基に、医師会 会員情報システム(MAMIS)に受講実績を登録いたしました。

(5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

- ・ 調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向等に関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 調査室委員会勉強会として12月21日(日)に「今後の医療と医療政策を俯瞰的に考えるー高市早苗自維連立政権の医療政策にも触れながら」をテーマに日本福祉大学名誉教授の二木立先生にご講演いただき、46名の参加者がありました。

- ・ 愛知県医師会地域医療政策研究機構

愛知県医師会地域医療政策研究委員会では、県内のDPCデータ等を用いて、愛知県の医療資源の現状等の把握、今後のあり方や具体策について検討いたしました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・ 健康教育

- 1) 健康教育委員会では、健康教育講座、あいち健康ナビの運営や広報活動等について検討・協議いたしました。
- 2) 県民を対象とした健康教育講座を地区医師会・各分科医会の協力のもと26回開催いたしました。また、その講座(地域開催除く)の内容の要旨をあいち健康ナビに動画配信いたしました。〈別表4 参照〉
- 3) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。セミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院等、100機関(3月末日現在)に本サイトよりセミナーやイベント情報を発信する投稿団体としてご登録いただいております。

・ 環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等の対策について、県当局と連携し、地区医師会への情報提供を行いました。
- 2) 結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会、瀬戸旭医師会及び西尾市医師会に委託するとともに、愛知県医師会においても10月11日(土)に感染症及び結核に関する講演会を開催し、145名の参加者がありました。
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団の委託研修として、3月7日(土)に感染症(HIV医療講習会)及び予防接種研修会を開催し、87名の参加者がありました。
- 4) 指定届出機関等の報償費引上げに関して、愛知県及び他の政令指定都市並びに中核市に対し、要望書を提出しました。

・ 広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、間違い報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等について協議を行いました。また、接種間違い防止のための定期接種ワクチン接種時期算出システム「誤接種防止早見表」のアクセス数について報告しました。
- 2) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出いたしました。また、本会及び地区医師会が開催する講習会等において、接種における注意事項や、書類の返戻件数といった内容を留意事項として伝達いたしました。
- 3) 令和8年度の本事業への協力依頼を2,796医療機関へ送付いたしました。
- 4) 接種協力医療機関は3月末日現在で、2,793件にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・ 地域医療構想

- 1) 第1回愛知県地域医療構想推進委員会を8月29日(金)に栄ガスビルにて開催し、社会医療法人大雄会 理事長 伊藤伸一先生より「新たな地域医療構想に関するとりまとめについて」と題してご講演をいただき、各構想区域における地域医療の現状について意見交換を行いました。また、第2回愛知県地域医療構想推進委員会を3月23日(月)に栄ガスビルにて開催し、厚生労働省 医政局 地域医療計画課 地域医療構想推進室 堤 雅宣室長より「新たな地域医療構想について」と題してご講演をいただき、各地域における今までの取組みの振り返りと今後の展望についての意見交換を行いました。

- 2) 県下各医師会、愛知県病院団体協議会幹事病院等を対象として研修会を以下のとおり開催いたしました。

地域医療構想の進め方に関する研修会

1月24日(土)	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前	参加者：39名
2月14日(土)	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前	参加者：33名
2月21日(土)	ホテルアソシア豊橋	参加者：40名

・ 病診連携

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状およびその問題点の把握に努めました。

・ 四大学連絡協議会

8月21日(木)に四大学の医学部長、病院長により、愛知県地域医療構想を協議することを目的に開催いたしました。「大学病院における医師派遣機能について～特定機能病院の基準見直し案も含めて～」、「新たな地域医療構想における大学病院が担う役割について」各大学の現状や考え方について意見交換いたしました。

・ 難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の令和7年4月～令和8年3月の相談件数は1,846件で、月平均の相談件数は154件でした。〈別表5 参照〉
- 2) 愛知県・名古屋市指定難病審査会(Web会議)にて毎月審査を行いました。
- 3) 6月30日(月)に難治性疾患委員会を開催し、愛知県健康対策課・名古屋市障害企画課・愛知労働局職業対策課より令和6年度の実績報告がありました。また、難病相談室より令和6年度難病相談事業の実績並びに令和7年度の難病相談室事業実施計画の報告を行いました。
- 4) 難病講習会を10月15日(水)、10月21日(火)、10月31日(金)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、計158名の参加者がありました。
- 5) 12月9日(火)に令和7年度難病講演会を開催いたしました。「神経・筋難病療養者支援のための心得」をテーマに、東京福祉大学の鎌田依里氏にご講演いただき、69名の参加者がありました。
- 6) 難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)を以下のとおり開催いたしました。

9月 5日(金)障害年金勉強会①	参加者：12名
10月 7日(火)障害年金勉強会②	参加者：5名
12月17日(水)支援者向け障害年金勉強会	参加者：128名
1月28日(水)炎症性腸疾患患者・家族のつどい	参加者：20名
- 7) 行政にて開催された各種会議に12回出席し、地域における難病患者や家族の現状、課題等について関係機関と協議並びに共有いたしました。
- 8) 保健所・保健センターにて開催された難病患者・家族のつどいの他、支援者向けの研修に10回、講師を派遣いたしました。
- 9) 2月10日(火)に難病患者・家族を対象とした講演会を開催いたしました。「難病患者の災害支援～命を守る「3つの備え」～」をテーマに豊橋創造大学の今福恵子氏にご講演いただき、34名の参加者がありました。

・ 糖尿病対策

- 1) 「世界糖尿病デー(11月14日)」ブルーライトアップ事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請を行いました。
- 2) 7月11日(金)に令和7年度愛知県糖尿病対策推進会議を開催し、糖尿病対策におけるかかりつけ医機能の充実を図るために、愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会の開催について検討いたしました。
- 3) 2月28日(土)に栄ガスビルにおいて令和7年度愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会を開催し、85名の参加者がありました。

・ 在宅医療

- 1) 在宅医療推進事業の一環として、せん妄・認知症対策研修会を開催し、11月29日(土)59名、12月20日(土)37名、計96名の参加者がありました。また、摂食・嚥下機能支援に関する研修会を12月13日(土)に開催し、94名の参加者がありました。また、愛知県医師会ACP普及研修検討委員会において、医師を始め、在宅医療に関連する多職種対象とした研修を企画・立案し、E-FIELDに基づき、本人の意向を尊重した意思決定のための相談体制の整備推進に資する内容で、愛知県医師会ACP普及研修会を開催し、3月1日(日)47名の参加者がありました。
- 2) 愛知県より小児在宅医療普及推進事業を受託し、小児在宅医療推進企画委員会において、医師、医療従事者を対象とした研修を企画・立案し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応等継続した小児在宅医療連携体制の構築を図るため、下記講習会を開催いたしました。

10月 12日(日)	あいち小児在宅医療実技講習会	参加者：87名
10月 18日(土)	海部・津島小児在宅医療講習会	参加者：43名
1月 24日(土)	名古屋小児在宅医療講習会	参加者：70名
- 3) 在宅医療を受けていた小児の死亡例を評価・検討する場として、小児在宅医療推進企画委員会にワーキンググループを設置し、予防可能な小児死亡を減らすことを目的として、死因の調査を行いました。

・ 警察

- 1) 警察関係業務の向上発展を図ることを目的として設置している愛知県医師会警察部会において、警察行政への協力、警察関係の医事研究向上、災害時における検案協力医体制の構築に努めました。
- 2) 愛知県医師会検視立会医の委嘱期間が令和7年8月31日に満了することに伴い、委嘱継続及び新規委嘱希望の調査を行い、愛知県警察本部長に対し140名を推薦いたしました。
- 3) 検視立会医に対し、検視医研修会を12月13日(土)に開催いたしました。愛知県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長の作田美穂氏より「愛知県における検視・検案について」、名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野教授の大島 徹先生より「入浴死の解剖事例 ～自己の経験と研究から～」と題してご講演いただき、31名の参加者がありました。

・ 勤務医

- 1) 勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、隔月開催の勤務医部会幹事会において、勤務医が関わる問題について検討いたしました。また、広報活動として、愛知医報の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。

- 2) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上昇にも力を入れました。6月18日(水)に、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち蒲郡市民病院 名誉院長 伊藤健一先生より「新たな地域医療構想 ～勤務医の視点から～」と題し、ご講演いただきました。
- 3) 中部医師会連合勤務医担当理事連絡協議会が11月15日(土)に名古屋マリオットアソシアホテルにて開催されました。「働き方改革施行から現在までの各県における現状と課題について」、「各県における卒後5年会員(会費無料)の入会数について」など各県で意見交換を行いました。

・ 日医電子認証センター(日本医師会認証局)

医師資格証の受渡し業務を本会にて4件実施いたしました。3月末日現在の愛知県内における医師資格証の登録者数は7,998名(内愛知県医師会非会員3,378名)となっております。

・ 国民医療を守るための総決起大会

11月20日(木)に開催し、131名の参加者がありました。総決起大会では、持続可能な社会保障制度の確立に向けて、国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して受けられるための適切な財源の確保を、国民とともに政府に対し求めていくことが決議されました。(別紙2 参照)

・ 日医かかりつけ医機能研修制度

- 1) 日医かかりつけ医機能研修制度令和7年度応用研修会(Web講習会)を9月21日(日)にウインクあいちにて開催し、91名の参加者がありました。
- 2) 本研修制度修了申請の受付を開始し、愛知県内では3月末日時点で、132名の方が「日医かかりつけ医機能研修制度 認定証」を取得されています。なお、令和7年4月1日付で42名を認定し、認定証を交付いたしました。
- 3) 本研修制度を修了し認定証を交付された方を、地域のかかりつけ医として活動し、研鑽を続けている医師であると広く県民に示すため、本会ホームページへ認定者名簿を掲載しております。

(8) 救急医療・災害医療対策

・ 災害・救急医療対策

- 1) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話、衛星携帯電話の運用訓練を6月3日(火)、7月1日(火)、8月5日(火)、10月7日(火)、11月4日(火)、12月3日(水)、2月4日(水)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 6月15日(日)に名古屋掖済会病院にて医師、医療従事者、消防関係者等対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、医師6名、医療関係者(看護師、薬剤師等)59名、消防関係者31名、その他7名の合計103名の参加者がありました。
- 3) 7月13日(日)に邦和セミナープラザにて医師会員、会員医療施設の職員、行政関係者の看護師、及びその他の医療専門職等を対象に第8回愛知BHELP標準コースを開催し、35名の参加者がありました。

- 4) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月9日(火)に東別院会館にて愛知県救急医療推進大会を開催し、公立陶生病院 感染症内科主任部長 武藤義和先生より、「2026年アジア競技大会と感染症対策～感染のバトンは繋がせない～」、独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 副院長 真弓俊彦先生より「高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言2024とこれから」をテーマに講演がなされ、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、92名の参加者がありました。
- 5) 10月5日(日)に名古屋掖済会病院にて医師を対象に愛知県医師会PTLS講習会を開催し、参加者17名に修了証を交付いたしました。
- 6) 10月9日(木)の中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練、10月23日(木)の県営名古屋空港消火救難総合訓練に、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。
- 7) 中部医師会連合災害医療担当理事連絡協議会が11月15日(土)に名古屋マリOTTアソシアホテルにて開催されました。「能登半島地震の経験から高齢者災害医療の問題点やその解決策」、「JRATとの連携について」各県で意見交換を行いました。
- 8) 愛知県医師会JMAT研修の開催に向けて、4月30日(水)、7月8日(火)、8月26日(火)、10月31日(金)に小委員会を、1月6日(火)に打合せ会を開催し、研修内容について検討を行いました。1月18日(日)に名古屋サンスカイルームにて、医師を対象に愛知県医師会JMAT研修を開催し、39名の参加者がありました。
- 9) 2月8日(日)に名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターにて医師・看護師を対象に愛知県医師会ICLS研修会を開催し、27名の参加者がありました。
- 10) 3月7日(土)にTKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前にて医師・医療従事者・消防職員等を対象に第42回救急医療・災害医療シンポジウム「災害時における高齢者搬送～命をつなぐ・医療・福祉・行政の連携実践について～」をテーマに開催し、93名の参加者がありました。
- 11) 小児救急に関する研修会を以下のとおり開催いたしました。

10月22日(水)	医療従事者向け	栄ガスビル5Fキングルーム	参加者：82名
1月23日(金)	学校関係者向け	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前 ホール3G+3H	参加者：157名
- 12) 「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」を保育園等に勤務している方を対象に以下のとおり開催し、修了証を交付いたしました。

12月23日(火)	ウインクあいち10階1001会議室	参加者：78名
-----------	-------------------	---------
- 13) 「小学生のための救急蘇生法講習」を愛知県内の小学校6年生を対象として開催し、15校1,086名の児童の参加者がありました。
- 14) 令和7年度愛知県災害医療コーディネート研修を愛知県・愛知医科大学との共催により以下のとおり開催し、保健所・災害拠点病院関係・県下医師会等の参加者がありました。

9月21日(日)	日赤愛知災害管理センター棟	参加者：44名
3月 1日(日)	日赤愛知災害管理センター棟	参加者：71名
- 15) 3月8日(日)に開催された「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2026」に救護スタッフとして医師16名を推薦いたしました。
- 16) 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会より、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の救護室等で活動する医師の募集協力の依頼があり、地区医師会等を通じて周知し、全138シフト53名を推薦いたしました。

- 17) 災害時の安否確認を目的とした「AKKシステム(愛知県医師会緊急確認システム Safetylink24)」について、A会員を対象に登録促進を行いました。また、登録の範囲を地区医師会役員及び事務局職員に拡充いたしました。3月末日時点で、2,974名にご登録いただいております。

・ 救急医療情報システム

救急患者実態調査、休日診療所における救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査、気管支喘息発作に関するアンケート調査、アナフィラキシーに関するアンケート調査を昨年に引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

・ 産業保健

- 1) 産業医学振興財団等の委託事業として、産業医研修事業を実施し、日本医師会認定産業医研修会として、更新研修、実地研修、専門研修を行いました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者111名及び更新申請者438名が認定を受けました。

・ 精神保健

- 1) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

8月 3日(日)	グランドティアラ安城	参加者：38名
9月28日(日)	サイプレスガーデンホテル	参加者：41名
11月 9日(日)	東京第一ホテル錦	参加者：36名
- 2) アルコール依存症の早期発見・介入等を行い、一層のアルコール健康障害対策の推進を図るため、「かかりつけ医等アルコール依存症対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

12月 8日(月)	東京第一ホテル錦	参加者：95名
-----------	----------	---------

・ 学校保健の推進

- 1) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。
- 2) 学校医の報酬実態調査を行い、調査結果を踏まえ、学校医の報酬に関して愛知県知事に要望書を提出いたしました。
- 3) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 4) 7月3日(木)に学校医の先生方を始めとした医療関係者、養護教諭、3歳児健診関係者を対象に小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会を愛知腎臓財団と共催にて開催し、41名の参加者がありました。
- 5) 7月13日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出された心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析を行いました。
- 6) 11月22日(土)に第56回全国学校保健・学校医大会が神奈川県医師会の担当で開催され、本会からも出席いたしました。

- 7) 令和8年度県立高等学校学校医の取り纏めを行い、愛知県教育委員会へ学校医の推薦をいたしました。
 - 8) 1月17日(土)に第40回学校保健健診懇談会を開催し、71名の出席がありました。定例報告に続いて、特別講演として「2025年日本循環器学会 / 日本小児循環器学会合同ガイドラインフォーカスアップデート版 学校心臓検診のトピックス」と題し、まりこどもクリニック港南台院長の岩本眞理先生よりご講演いただきました。
 - 9) 3月1日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、77名の参加者がありました。特別講演として「学びたいのに学べない子どもたち ～「できるくせにやらない」「できないから仕方ない」に追い詰められて～」と題し、公立小学校教諭・特別支援教育士・東京大学先端科学技術研究センター中呂研究室連携研究員・学校放送番組「算数バトル マスマスター」番組委員の井上賞子様よりご講演いただきました。
 - 10) 3月18日(水)に令和8年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、令和8年度に愛知県立学校の健診を実施する10の健診機関を対象に、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。
 - 11) 令和8年度に本会が担当予定の第57回全国学校保健・学校医大会の開催に向けて、令和8年度 第57回全国学校保健・学校医大会に関する検討委員会を設置し、大会の企画・運営について検討・協議いたしました。
- ・ 母体保護法指定医師の指定
- 1) 母体保護法指定医師審査委員会にて審査の上、20名の母体保護法指定医師を新規指定し、新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施いたしました。3月末日現在における母体保護法指定医師は477名です。
 - 2) 母体保護法指定医師に対し、母体保護法指定医師講習会(ゴールドカード講習会)を7月26日(土)、8月23日(土)、9月25日(木)に開催し、306名が受講されました。
 - 3) 緊急避妊薬「ノルレボ®」が特定要指導医薬品として承認・発売されたことに伴い、その販売にあたっては、薬局における医療機関との連携体制の確保が求められることとなりました。このため、愛知県産婦人科医会の協力のもと、愛知県薬剤師会と合意書を締結し、連携体制の整備を図りました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・ 社会保険

- 1) 社保指導委員会では、指導・監査に係る講評等を行うとともに、社会保険等の適切な運用に向けて協議・検討を行いました。
- 2) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 3) 中部医師会連合社会保険特別委員会が8月3日(日)はWeb会議にて、9月7日(日)は対面で開催され、指導監査実施状況及び保険医療機関・保険医の指定取消状況、令和8年度診療報酬改定における検討項目等について協議・報告、意見交換を行いました。
- 4) A会員(令和6年5月末現在)を対象に社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を4月2日(水)、4月23日(水)、5月1日(木)、未受講者を対象に6月29日(日)の計4回開催いたしました。
- 5) 分娩の保険適用に伴う現状や課題について学ぶため、9月4日(木)に保険診療勉強会を開催し、厚生労働省保険局保険課長よりご講演いただきました。

- 6) ベースアップ評価料の関係文書や医療DX推進体制整備加算の取扱い等について会員に周知し、県下医師会長等協議会の場でも説明を行いました。

(介護保険関連)

・ 介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では地域包括ケア、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会及び行政との連携体制の強化を図りました。
- 2) 県下各医師会を対象に、7月より「在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査」を行いました。
- 3) 中部医師会連合地域包括ケア特別委員会が7月12日(土)、8月3日(日)の2回開催されました。各県より地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ医の役割について、また、各県医師会におけるエンディングノートの取り組みについて等協議・報告、意見交換を行いました。その他、各県における在宅専門クリニックの進出状況及び地域医師会、県医師会への加入状況、一般診療所との連携状況について意見交換を行いました。
- 4) 1月17日(土)に保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム(テーマ：2040年へ向けた地域包括ケア～新たな地域医療構想と地域包括ケアシステム～)を開催し、会場参加66名、Web参加83名、計149名の参加者がありました。

・ 認知症対策

- 1) 認知症地域医療研修検討委員会では、認知症の容態に応じた適切な医療の提供が可能となる支援体制を構築するための研修について検討いたしました。
- 2) 愛知県下で開業または勤務する医師(名古屋市医師会を除く会員)に対し、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催し、7月5日(土)58名、7月26日(土)43名、計101名の参加者がありました。
- 3) 医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師、リハビリ職種を始めとした多職種の医療従事者を対象に、医療従事者の認知症対応力向上研修を開催し、8月2日(土)78名、9月13日(土)54名、10月25日(土)49名、計181名の参加者がありました。
- 4) 認知症サポート医を対象に、12月6日(土)に認知症サポート医フォローアップ研修を開催し、49名の参加者がありました。
- 5) 産業医等を対象に、1月28日(水)に産業医向け若年性認知症支援研修を開催し、50名の参加者がありました。
- 6) 認知症対応病院ピアレビューの参加病院等に対し、3月12日(木)に認知症対応病院ピアレビュー活動報告会を開催し、30病院から65名の参加者がありました。

(11) 医療安全対策の推進

・ 医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方について、医療安全対策小委員会で検討いたしました。
- 2) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、19件を日本医師会へ付託いたしました。また、「日医医賠責特約保険」の加入者は、3月末日現在で1,946名になりました。
- 3) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は相談が3件、支援依頼が12件ありました。

- 4) 3月6日(金)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催いたしました。また、愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事を7月4日(金)、2月6日(金)に開催し、医療事故調査制度に関する情報交換を行った他、愛知県医師会Aiシステムの改定、各研修会について協議を行いました。
- 5) 医療事故調査制度コーディネーター養成研修会、医療対話推進者養成セミナー～医療コンフリクト・マネジメントアプローチ～医療メディエーションの理論と技法 実践基礎編研修(医療メディエーター研修)に参加された医師、看護師等を対象に登録をいただき、小規模医療機関より医療事故調査の全面支援の依頼があった際に、初動支援チームとして医療機関へ出向いていただく体制を整備しており、3月末日時点で医師、看護師等合わせて93名に登録をさせていただいております。
- 6) 10月12日(日)・13日(月・祝)に愛知県看護協会にて、医療対話推進者養成セミナー～医療コンフリクト・マネジメントアプローチ～医療メディエーションの理論と技法 実践基礎編研修(医療メディエーター研修)を開催いたしました。医療事故調査制度における初期対応支援の中でも重要とされる遺族対応について習得することを目的に研修を行い、医師、看護師、事務職員等30名が受講しました。
- 7) 10月26日(日)にコートヤード・バイ・マリオット名古屋において、医療事故調査制度コーディネーター養成研修会を開催いたしました。医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れな医療機関から支援を求められた場合に、初動支援チームのメンバーとして対応できる事項を習得することを目的に研修を行い、医師、看護師、事務職員等合わせて39名の参加者があり、参加者全員にコーディネーター認定証を授与いたしました。また、12月7日(日)にコーディネーター養成研修会の受講者を対象に、医療事故調査制度コーディネーターブラッシュアップ研修会を開催いたしました。初動支援チームのメンバーとして対応できる知識とスキルをさらに向上させることを目的に行い、26名の参加者がありました。
- 8) 12月4日(木)に栄ガスビルにおいて、医療事故調査制度に関する研修会を開催いたしました。2名の講師をお招きし、医療法人済衆館 済衆館病院 理事長、医療事故調査制度等の医療安全に係る検討会 構成員の今村康宏先生からは「厚生労働省『医療事故調査制度等の医療安全に係る検討会』から見えてくる医療安全、医療事故調査の未来図」と題しご講演いただき、東邦大学医学部社会医学講座 教授、医療事故調査制度等の医療安全に係る検討会 構成員の長谷川友紀先生からは「医療事故調査制度が明らかにした課題を考える」と題しご講演いただき、120名の参加者がありました。

・ 医療安全支援センター(苦情相談センター)

- 1) 令和7年4月～令和8年3月の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,651件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員(看護師、医療ソーシャルワーカー)が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会の専門委員(医師)によって適切に行われました。
- 2) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会を毎月開催し、担当理事・専門委員が対応した事例の報告並びに検討を行いました。また、小委員会では、事例検討会開催に向け、議論の内容等について協議いたしました。
- 3) 7月3日(木)に邦和セミナープラザにおいて、令和7年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)医療従事者のためのハラスメント実技研修を開催し、67名の参加者がありました。
- 4) 7月26日(土)にホテルメルパルク名古屋において、令和7年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回事例検討会を開催し、189名の参加者がありました。

- 5) 9月27日(土)にTKP名古屋ガーデンシティPREMIUM名古屋駅前において、令和7年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回講演会を開催いたしました。「医療安全講演会：患者・利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策」をテーマに、関西医科大学 看護学部・看護学研究科 教授 三木明子氏にご講演いただき、324名の参加者がありました。
- 6) 11月8日(土)にミッドランドホールにおいて、令和7年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回講演会を開催いたしました。「臨床における倫理的課題に「組織として取り組む」とは？ー令和6年度診療報酬改定に伴うACPと身体拘束最小化をめぐる混乱を中心にー」をテーマに、宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門 臨床倫理部部長 板井孝壱郎先生にご講演いただき、205名の参加者がありました。
- 7) 12月20日(土)に名古屋コンベンションホールにおいて、令和7年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回事例検討会を開催し、130名の参加者がありました。
- 8) 1月9日(金)に中日カンファレンスにおいて、令和7年度医療安全対策推進事業県民のための医療安全講演会を開催いたしました。「救急のホンネ：救急医療の現状とうまい関わり方」をテーマに、藤田医科大学病院 救急総合内科 教授 渡瀬剛人先生にご講演いただき、57名の参加者がありました。
- 9) 「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会・講演会報告集2025」を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。

・医療安全対策

- 1) 10月2日(木)に栄ガスビルにおいて、医師・医療従事者向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「事例から学ぶ～医療事故情報収集等事業より～」をテーマに、公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部部長 坂口美佐先生にご講演いただき、100名の参加者がありました。
- 2) 2月7日(土)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会医療安全対策委員会勉強会を開催いたしました。「インフォームド・コンセントと親族構造の変容」をテーマに一橋大学法科大学院客員教授 新星総合法律事務所 児玉安司弁護士にご講演いただき、本会役員始め58名の参加者がありました。

・剖検システム

- 1) 医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき、順調な運営を続けております。
- 2) 2月12日(木)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会剖検システム運営協議会を開催し、令和7年の運営状況(決算報告)、症例報告等を行いました。
- 3) 愛知県下四大学病院の病理部門を対象にご遺体の取り扱いに関する調査を行いました。

(12) 医療施設の整備

・共同利用施設

- 1) 11月3日(月・祝)に名古屋マリオットアソシアホテルにて「令和7年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」を開催し、「パンデミック後の共同利用施設の将来像」をテーマに、中部各県の共同利用施設の現状や課題について報告、意見交換を行いました。
- 2) 8月30日(土)・31日(日)に高崎芸術劇場及びホテルメトロポリタン高崎(群馬県)にて開催されました「第31回全国医師会共同利用施設総会」に参加し、各都道府県の共同利用施設の現状把握に努めました。共同施設委員会では、例年実施している各施設における現況調査の報告に加え、上記協議会等について情報提供を行いました。

- ・ 臨床検査精度管理

- 1) 県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(免疫学(血清学)・血液学・病理学・生化学・尿)を実施いたしました。
- 2) 2月3日(火)に精度管理研修会を開催し、藤田医科大学医学部 臨床検査科 教授の伊藤 弘康先生を講師に迎え、特別講演として「AI・ロボティクスを利用した次世代病院検査室の構築」をテーマにご講演いただき、51名の参加者がありました。

(13) 会員の福祉の向上

- ・ 労働保険事務組合

委託事業所数は67件(3月末日現在)であり、前年度から1件の減少がありました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得49件、喪失51件でした。

- ・ 生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、生命保険会社7社と契約し、契約人数288名、契約件数431件であり、月掛取扱保険料は2,875万余円でした。〈別表6 参照〉

- ・ 会員相談窓口

令和7年4月～令和8年3月の一般相談件数は380件あり、診療報酬に関する相談は93件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

- ・ 事業概要等説明会

今年度からビデオ講座として開催し、「医師会の機構と事業」・「保険診療上の留意点」・「苦情相談、会員相談窓口、医療安全、医療事故調査制度」について担当理事より講演を行いました。また、講演の内容をオンデマンド配信し、全ての新入会員に動画の視聴を案内いたしました。説明会動画は3月末日現在で196回の視聴をいただいております。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉外)

- ・ 中部医師会連合

中部医師会連合の事業年度は規約により、7月1日から翌年6月30日までの1年間であるため、令和7年4月～6月は前年度に引き続き石川県が、7月からは愛知県(本会)が主務担当となりました。

常任委員会13回、常任委員会懇談会2回、日医代議員協議会2回、委員総会1回、社会保険特別委員会2回(Web会議1回)、地域包括ケア特別委員会2回(Web会議1回)、会員増強特別委員会1回、事務局長連絡協議会2回が開催されました。

また、11月3日(月・祝)に共同利用施設連絡協議会、11月15日(土)に災害医療担当理事連絡協議会及び勤務医担当理事連絡協議会が開催されました。

- ・ 関西医師会連合

今年度の主務担当県は愛知県(本会)で、8月2日(土)に京都市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務県は三重県となりました。

(IT化対策)

・ ホームページ・ IT化対策

- 1) ホームページ・ IT化対策委員会において、令和7年度 情報セキュリティ研修会を企画・検討いたしました。また、本会ホームページのリニューアルについて協議を行いました。
- 2) 11月6日(木)にWeb会議システムを用いて情報セキュリティ研修会を開催し、140名の参加者がありました。また、本研修会動画を本会YouTubeチャンネルに公開いたしました。
- 3) 会員への情報提供を迅速に行うため、本会ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めました。
- 4) 日本医師会医療IT委員会に委員として参加し、会長諮問事項について検討・協議いたしました。

(広報)

・ 広報

- 1) 医師会活動等を報告する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回(1日・15日)発行いたしました。掲載内容・構成については広報委員会において検討・決定いたしました。
- 2) 本会が主催する各種研修会や、関連団体事業についてのお知らせ等、会員にとって身近で役に立つ情報を配信する「公益社団法人愛知県医師会 LINE公式アカウント」を運用し、友だち登録者に対しメッセージ配信を行いました。LINE公式アカウントには、3月末日現在で2,473名に友だち登録をいただいております。
- 3) 令和9年11月実施予定の愛知県医師会設立80周年記念式典に合わせて、平成28年度から令和7年度までの10年間分の活動内容を纏めた愛知県医師会史の発刊に向け、作業を進めております。

(15) 医師・医療関係従事者対策

(勤務環境改善支援)

・ 医療勤務環境改善支援センター

- 1) 愛知県の医療勤務環境改善支援センター運営事業、愛知労働局の医療労務管理支援事業を受託いたしました。
- 2) 医療機関に対する労務管理支援として、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備を目的に、個別訪問支援業務延べ337件、相談対応業務延べ264件を行いました。
- 3) 当センターの活動内容、勤務環境改善に関する好事例の紹介、セミナー等の開催案内、働き方改革関連の最新情報等の情報提供を目的とした広報紙「いきサポ愛知」を隔月発行いたしました。
- 4) 当センターの利用勧奨を目的としたリーフレットを作成し、愛知県下全医療機関に配布いたしました。
- 5) 医師の働き方改革関連の情報や各種研修会のお知らせをより多くの方々にいち早く発信するため、医療関係者向けのメールマガジンを配信いたしました。
- 6) 愛知県下の医療機関を対象に、改正労働基準法の内容を含む労働時間に関する制度の周知、理解促進を目的とした説明会を以下のとおり行いました。

医療機関に対する働き方改革セミナー

7月30日(水)	栄ガスビル	参加者：70名
9月 8日(月)	栄ガスビル	参加者：35名
10月 8日(水)	栄ガスビル	参加者：44名

- 7) 特定労務管理対象機関の指定を受けた医療機関が、医師の労働時間短縮計画に基づく取組を進める中で生じた疑義等について、他院での取組等を情報収集することにより自院での問題解決に繋げることを目的とした意見交換会を以下のとおり行いました。

大学病院を対象とした意見交換会(Web開催) ※近県の大学病院を含む
11月11日(火) 参加者：29名

大学病院以外を対象とした意見交換会(Web開催)
11月13日(木) 参加者：12名
11月18日(火) 参加者：8名
11月25日(火) 参加者：8名

- 8) 愛知県下各労働基準監督署主催の「医療保健業に対する労働時間等説明会」に医療労務管理アドバイザー等を派遣し、医療機関の勤務環境改善に関する支援について計11回説明を行い、利用勧奨いたしました。

(医師確保対策事業の推進)

・ 医師確保

事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター(ドクターバンクあいち)窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、愛知県地域医療支援センターと連携して対応しております。愛知医報並びにホームページにてドクターバンクあいちに登録のある求人機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供できるよう努めております。職員による医療機関への訪問等、求人機関、求職者の希望に柔軟に対応いたしました。紹介件数は27件で、採用件数は9件でありました。

・ 男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数の増加が著しく、女性の活躍の場が増えている一方で、医師としてのキャリア形成と家事・育児との両立を始めとする数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の実用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に注視し、共同参画の実現に向け、男女それぞれの役割等、広い視野を持って取り組みました。
- 2) 日本医師会女性医師支援センター(ドクターサポートセンター)事業運営委員会に委員として参加し、事業内容等について、検討・協議いたしました。
- 3) 10月15日(水)に岡崎市民病院にて、「医学生、若手医師と地域医療を考える会」を開催いたしました。講師に岡崎市民病院初期研修医の須田直紀先生、岡崎市民病院緩和ケア内科緩和ケアセンター長の橋本淳先生をお招きし、「高齢者救急における現場の悩み～働き方改革と救急医療維持の両立を目指して～」・「ACPと地域連携～地域連携の強化と医師のキャリア形成～」と題しご講演をいただきました。また、パネルディスカッションにディスカッサントとして男女共同参画委員会小出詠子委員長、志賀医院院長の志賀教克先生、医療法人あおぞら在宅クリニック院長の大嶋義之先生、医療法人岩瀬医院院長の岩瀬敬佑先生にご登壇いただきました。現地参加16名、オンライン参加30名の合計46名の参加者がありました。

・ 若手医師対策

7月12日(土)に名古屋東急ホテルにて、臨床研修指定病院の病院長、指導医、研修医の先生方を対象として、「令和7年度 愛知県医師会 研修医ウェルカムパーティ」を開催し、第一部研修会では、本会より勤務医の医師会入会に向けた医師会案内として「医師が医師会を持つことのメリット」、「医師会に入ることのメリット」、愛知県勤務医師生活協同組合長谷川真司理事長より「愛知県勤務医師生活協同組合について」と題して講演を行いました。医師会関係者を含め160名の参加者がありました。

- ・ 臨床研修医の入会促進

臨床研修指定病院へ、臨床研修医の入会を文書により依頼し、3月末日現在で683名(うち新たに409名)の先生方にC会員としてご入会いただきました。また、臨床研修を修了される医師向けにB会員への異動について文書により依頼するとともに、担当理事より各臨床研修指定病院に電話連絡を行い、更なる入会促進へのご協力を依頼しました。

- ・ 医療従事者対策

- 1) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等が報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 2) 愛知県ナースセンターが実施する「スポットナース支援事業」について、1月の県下医師会長等協議会等で周知し、求人募集施設の登録様式を会員用ホームページに掲載いたしました。
- 3) 医療事務員講習会を9、10、11月に開催し、全15日間、30講座を行いました。12月には資格認定試験を行い、43名が受験し42名が合格いたしました。

- ・ 医療秘書学院

- 1) 平成27年度よりあいちビジネス専門学校(全日制)「医療秘書科」へ運営を委託しており、令和元年度より同校「診療情報管理士科」へ追加委託をいたしました。令和7年度は医療秘書科52名、診療情報管理士科38名、合計90名が入学いたしました。
- 2) 今年度、全国医師会医療秘書学院連絡協議会の当番県として、令和7年度医療保険請求事務実技試験委員会を4回、令和6年度会計監査(Web会議)を1回、令和7年度常任委員会を2回、令和7年度定例総会を1回、令和7年度運営委員会を2回開催いたしました。また、日本医師会認定医療秘書の今後の在り方について検討するため、全国医師会医療秘書学院連絡協議会加入県12県に対し「日本医師会医療秘書の今後についてのご意見について」、「日本医師会認定医療秘書制度に関する規則(案)に関するご意見について」のアンケート調査を行い、令和7年度日本医師会医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する検討会(Web会議)を2回開催し、日本医師会医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する提言書を作成し日本医師会へ提出しました。
- 3) 2月1日(日)にあいちビジネス専門学校にて、第46回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、70名が合格いたしました。
- 4) 医療秘書科38名、診療情報管理士科36名が医療秘書課程を修了しました。3月13日(木)にはあいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、医療秘書科38名が卒業しました。

(16) 会務運営・総務・財務

- ・ DX推進プロジェクトチーム会議

新会館での業務開始を見据え、本会事務局業務のDX化を推進するため、新会館における電話及びLANネットワーク新築工事について要件を取りまとめ、仕様書を策定いたしました。また、生成AIの利活用について事務局職員への展開を行うとともに、各種研修会・講習会事務のDX化及び会計業務のDX化について検討を行いました。

・ 会館整備

- 1) 仮事務所において、5月に特定建築物の定期検査を実施し、特に指摘箇所はありませんでした。
- 2) 仮事務所において、8月と2月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。

・ 会館建設委員会

- 1) 4月7日(月)に第15回会館建設委員会を開催し、令和7年3月24日(月)より設計会社の立会いのもと、新築杭の打設が開始したこと、令和7年3月31日時点で新築杭17本中5本の打設が完了したことを報告いたしました。また、新築杭工事は4月19日(土)に完了予定であり、4月24日(木)より南面既設地下外壁の撤去工事に入る予定であることを併せて報告いたしました。第14回会館建設委員会(令和7年1月27日(月)開催)の際に、委員よりご意見をいただいた趣意書の修正案を報告いたしました。また、寄附金について(金額・趣意書・募集要項・依頼方法等)様々な意見交換がなされました。
- 2) 第16回会館建設委員会を10月6日(月)に開催し、会館建設工事の進捗状況等を鑑み、コンストラクション・マネージャーを採用することについて説明がなされました。また、10月3日(金)に施工会社の社長と面談し、工期について申し入れを行ったことについて報告いたしました。
- 3) 第17回会館建設委員会を1月26日(月)に開催し、南側既存地下外壁・地中障害撤去工事が完了したことを報告いたしました。コンストラクションマネージャーによる交渉の結果、南面既存地下外壁・地中障害撤去工事及び山留め壁設置工事費用について減額となったこと、また工事については令和9年3月31日竣工を目指していくことになったことを報告いたしました。
- 4) 1月26日時点の会館建設の収支について説明を行いました。
- 5) 今回の工期延伸に伴い、次の仮事務所(伏見アイマークビル)へ移転することになったことを報告いたしました。

・ 会館建設小委員会

- 1) 令和6年度の会館建設に係る補助金・負担金確定額について、令和6年度に発生した地中障害撤去工事の振動に伴う苦情等により工法を変更して行った結果、地中障害撤去工事の工期が0.8ヶ月の延伸となったため、新築工事が後ろ倒しとなり、予定出来高を達成できず支払い予定額が下回りました。
- 2) 新築杭17本中の最後の1本であるNo. 13の打設が地中障害撤去のため遅れていましたが、5月9日(金)に完了いたしました。
- 3) 新築杭No. 13の工事費について、設計会社の4回の精査を経て見積提示金額が3,399万円(税込)に決定したため、6月26日(木)開催の理事会にて本工事費用の追加契約をすることについて了承を得ました。
- 4) 旧会館の既設山留が利用できる可能性もあるとのことで地面から2m試掘した結果、南面以外では既設山留の確認ができ、新規躯体と影響がないため工事に使用することになりました。南面から同様に試掘した2mの位置に既設山留が確認できれば、その山留を継ぎ足して利用することが出来ましたが、現状はそれより深いところにあることが確認されました。
- 5) 図面決定後に外装材料及び内装材料のカラースキーム等の確認を行うため、現場事務所等の打ち合わせの際の新会館もの決め工程担当役員を決定しました。

- 6) 旧会館南側既存地下外壁を撤去し、新規に山留め壁を新設する工事を進めている中、旧会館や旧旧会館に使用されていたと思われる古い躯体やH鋼等が地中に埋まっており、それらを撤去しないと新しい山留め壁を施工することができないため、その解体工事に時間を要していることが施工業者より報告されました。
 - 7) 設計会社より、「南側建物地下・外壁・柱位置移動案」の再検討をした結果、工期・コスト・部材検定等の面から総合的に難しいとの報告がなされました。
工期短縮に関しては主架構の構造架構(建物や構造物の骨組みや枠組み)は変更せず、意匠・構造、設備のその他の工程短縮案を積み上げていくのが望ましいとの報告がなされました。
 - 8) 新会館における電話及びLANネットワーク新築工事にかかる費用を削減するため、DX推進プロジェクトチーム会議において仕様の検討を行ったLANネットワークと、電話工事を一体化する仕様書を策定し、6者相見積もりを実施した結果、当初予算を大幅に下回る価格となったことを報告いたしました。
 - 9) 現在の会館建設進捗状況等に鑑み、コンストラクションマネージャーを採用することについて、9月18日(木)の小委員会にて説明及び相談がなされ、9月19日(金)の臨時で開催した小委員会にて、コンストラクションマネージャー(下記参照)候補者を面接し、小委員会として承認を得ました。その後、9月25日(木)開催の理事会にて承認され、正式に委嘱いたしました。
- 【コンストラクションマネージャー(CMr)】
プロジェクトの工期遅延、予算超過等を防止するため、発注者側の立場で、設計・施工の各段階を技術的な中立性を保ちながらマネジメントする専門家。
- 10) 10月3日(金)には会長とコンストラクションマネージャーが施工業者東京本社へ出向き、工期短縮等について強く要請しました。
その後も設計会社、施工業者、本会とで工期短縮及びコスト削減について、コンストラクションマネージャーに依頼し、協議を重ねました。
 - 11) 協議の結果、工期については令和9年3月31日竣工を目指し、コスト削減については、意匠・構造・設備費用をそれぞれ見直し、VE(案)として6,226,000円の削減が示されました。
 - 12) コンストラクションマネージャーによる交渉の結果、南面既存地下外壁・地中障害撤去工事及び山留め壁(H鋼横矢板)設置工事費用については、当初359,029,000円の提示がありましたが、交渉の結果8,129,000円の減額となり、350,900,000円(既契約の127,600,000円含む)となりました。
 - 13) 今回の工期延伸の原因となった南側既存地下外壁・地中障害撤去工事(BG工事)が12月16日(火)に完了しました。また、1月より地下解体と山留め工事を並行して行いました。
 - 14) 工期延伸に伴い、次の仮事務所(伏見アイマークビル)へ移転することとなりました。
 - 15) 令和9年3月31日竣工を目指し、解体工事及び新築工事を鋭意進めていきます。

16) 会館に係る寄附金について

【募集期間】個人・法人：令和7年 5月1日～令和8年7月31日
 関連団体：令和7年10月1日～令和8年7月31日
【募集金額】個人 ：1口10,000円 5口以上
 法人・関連団体：1口10,000円 10口以上
【寄附金額(3月31日(火)現在)】：1億2,350万6,430円(524名)

みなさまからの温かいご支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。
現在、50の企業等(金融機関、関連団体等)へ直接訪問、郵送等で寄附金のお願いをしております。

・ 会員増強

中部医師会連合会員増強特別委員会が9月21日(日)に開催されました。開業医・勤務医の入会対策について事前にアンケートを行い、その結果報告を踏まえて、各県の取り組みに関する問題点や今後の課題について意見交換を行いました。

・ 会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程に則り、適正な会館運営をいたしました。〈別表7参照〉

・ 定款諸規程

定款諸規程等検討委員会を6月20日(金)、12月4日(木)に開催し、代議員会議長・副議長の選定(選挙当日の立候補不可及び投票用紙)、予備選挙管理委員の選挙運動の禁止、参与の増員及び外部理事・外部監事の選任、日医代議員及び予備代議員の定数増加について協議いたしました。

会 員 数 〈 別 表 1 〉

令和8年3月31日現在の本会会員数は11,301名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数(名)			
	A会員	B会員	C会員	計
名 古 屋 市	1,838	2,154	188	4,180
一 宮 市	227	524	39	790
瀬 戸 旭	118	144	26	288
半 田 市	73	73	15	161
春 日 井 市	172	161	39	372
津 島 市	46	57	14	117
小 牧 市	83	48	0	131
東 海 市	70	47	0	117
岩 倉 市	24	21	0	45
東 名 古 屋	183	80	0	263
西 名 古 屋	85	96	0	181
尾 北	125	153	26	304
稲 沢 市	77	71	10	158
海 部	139	177	20	336
知 多 郡	186	116	7	309
豊 橋 市	221	254	8	483
岡 崎 市	213	288	27	528
豊 川 市	93	121	21	235
碧 南 市	34	30	2	66
刈 谷	128	169	33	330
豊 田 加 茂	226	295	48	569
蒲 郡 市	47	31	4	82
安 城 市	98	137	2	237
西 尾 市	74	49	7	130
北 設 楽 郡	5	1	0	6
新 城 市	27	12	0	39
田 原 市	28	20	0	48
名 古 屋 大 学	1	141	2	144
名 古 屋 市 立 大 学	1	144	38	183
藤 田 医 科 大 学	1	197	71	269
愛 知 医 科 大 学	1	163	36	200
合 計	4,644	5,974	683	11,301

物 故 会 員 〈 別 表 2 〉

(令和7年4月～令和8年3月届出分)

氏 名	年 齢	地 区	死亡年月日
生 駒 定 治 様	95 歳	名 古 屋 市	R4. 7. 17
中 村 洋 一 様	88 歳	名 古 屋 市	R6. 10. 5
森 省 二 様	77 歳	名古屋市立大学	R6. 12. 6
戸 田 安 士 様	94 歳	名 古 屋 大 学	R7. 1. 15
秋 山 泰 志 様	50 歳	春 日 井 市	R7. 1. 31
小松原 和 夫 様	91 歳	春 日 井 市	R7. 2. 1
前 田 健 博 様	62 歳	春 日 井 市	R7. 2. 11
東 浦 有 様	99 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 14
安 部 達 義 様	102 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 15
近 藤 利 彦 様	80 歳	豊 橋 市	R7. 3. 15
茶 谷 順 也 様	52 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 16
土 岡 弘 通 様	94 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 23
渡 辺 登 様	91 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 31
大 野 鈴 弘 様	72 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 31
大 橋 道 三 様	90 歳	岡 崎 市	R7. 4. 2
洪 淳 道 様	89 歳	名 古 屋 市	R7. 4. 3
隅 田 一 興 様	85 歳	豊 川 市	R7. 4. 3
岡 崎 昭太郎 様	80 歳	稲 沢 市	R7. 4. 4
中 野 弘 雄 様	95 歳	名 古 屋 市	R7. 4. 10
上 田 雅 乃 様	90 歳	名 古 屋 市	R7. 4. 10
柿 沼 善 弘 様	79 歳	岡 崎 市	R7. 4. 18
覚 前 遊 様	42 歳	海 部	R7. 4. 20
宮 田 金 泰 様	82 歳	名 古 屋 市	R7. 4. 21
大 野 弘 之 様	90 歳	名 古 屋 市	R7. 4. 28
木 全 ゆり子 様	97 歳	海 部	R7. 5. 7
鈴 木 寛 様	98 歳	名 古 屋 市	R7. 5. 10
長 野 哲 也 様	78 歳	岡 崎 市	R7. 5. 13
吉 田 洋 様	76 歳	名 古 屋 市	R7. 5. 14
芳 賀 通 郎 様	77 歳	豊 橋 市	R7. 5. 19
丸 尾 猛 様	87 歳	尾 北	R7. 5. 22

氏 名	年 齡	地 区	死亡年月日
末 澤 實 様	78 歳	西 名 古 屋	R7. 5. 22
小 林 昭 彦 様	71 歳	名 古 屋 市	R7. 6. 10
小 崎 誠 三 様	98 歳	名 古 屋 市	R7. 6. 14
岡 山 久 様	69 歳	名 古 屋 市	R7. 6. 21
鈴 木 國 文 様	73 歳	名 古 屋 大 学	R7. 6. 23
鬼 頭 早 苗 様	91 歳	名 古 屋 市	R7. 7. 12
伊 藤 光 様	69 歳	名 古 屋 市	R7. 7. 20
菅 沼 幸 夫 様	90 歳	豊 田 加 茂	R7. 8. 8
太 田 薫 様	76 歳	名 古 屋 市	R7. 8. 12
岡 本 敏 男 様	90 歳	名 古 屋 市	R7. 8. 16
加 藤 精 克 様	84 歳	海 部	R7. 8. 31
伊 藤 幸 調 様	90 歳	名 古 屋 市	R7. 9. 4
新 美 守 彦 様	88 歳	東 海 市	R7. 9. 8
舘 祐 二 様	63 歳	東 名 古 屋	R7. 9. 8
加 藤 寿 彦 様	87 歳	名 古 屋 市	R7. 9. 11
中 島 幹 夫 様	76 歳	名 古 屋 市	R7. 9. 26
大 原 教知可 様	88 歳	豊 川 市	R7. 10. 2
維 田 宗 夫 様	84 歳	名 古 屋 市	R7. 10. 8
下 郷 泉 様	74 歳	名 古 屋 市	R7. 10. 9
滝 井 健 人 様	38 歳	半 田 市	R7. 10. 10
須 知 雅 史 様	68 歳	知 多 郡	R7. 10. 12
石 垣 宏 様	83 歳	名 古 屋 市	R7. 10. 14
稲 川 明 俊 様	79 歳	津 島 市	R7. 10. 16
大 嶋 恵 子 様	76 歳	一 宮 市	R7. 10. 17
奥 田 祥 子 様	94 歳	名 古 屋 市	R7. 10. 18
伊 藤 徹 也 様	103 歳	瀬 戸 旭	R7. 10. 27
岩 月 義 昭 様	90 歳	刈 谷	R7. 10. 31
荻 野 修 様	99 歳	新 城 市	R7. 11. 9
棚 橋 汀 路 様	95 歳	名 古 屋 市	R7. 11. 25
伊 藤 浩 明 様	64 歳	知 多 郡	R7. 11. 26
川 口 涉 様	89 歳	豊 橋 市	R7. 12. 2
大 橋 照 美 様	89 歳	東 海 市	R7. 12. 8
藤 本 喬 様	93 歳	一 宮 市	R7. 12. 11
飯 田 幸 雄 様	93 歳	瀬 戸 旭	R7. 12. 14
三 沢 和 男 様	83 歳	豊 橋 市	R7. 12. 17
加 藤 正 仁 様	66 歳	瀬 戸 旭	R7. 12. 19

氏 名	年 齢	地 区	死亡年月日
森 明 様	92 歳	一 宮 市	R7. 12. 23
奥 山 牧 夫 様	92 歳	稲 沢 市	R7. 12. 31
渡 會 一 男 様	93 歳	豊 橋 市	R8. 1. 8
田 中 誠 様	78 歳	知 多 郡	R8. 1. 10
安 藤 重 幸 様	77 歳	尾 北	R8. 1. 11
長谷川 み わ 様	101 歳	名 古 屋 市	R8. 1. 12
吉 澤 香恵子 様	76 歳	刈 谷	R8. 1. 17
辻 孝 様	80 歳	名 古 屋 市	R8. 1. 19
野々川 旭 様	95 歳	安 城 市	R8. 1. 28
浅 野 毅 様	89 歳	豊 橋 市	R8. 2. 1
内 藤 耕太郎 様	79 歳	春 日 井 市	R8. 2. 1
内 田 達 男 様	75 歳	岡 崎 市	R8. 2. 4
喜 納 進 様	99 歳	岡 崎 市	R8. 2. 10
竹 内 実 三 様	94 歳	名 古 屋 市	R8. 2. 18
山 本 有 機 様	84 歳	海 部	R8. 2. 19
平 吹 禎 佑 様	94 歳	豊 田 加 茂	R8. 2. 22
林 時 様	100 歳	名 古 屋 市	R8. 3. 7
舟 曳 純 一 様	80 歳	尾 北	R8. 3. 21
久 島 泰 仁 様	62 歳	名 古 屋 市	R8. 3. 26

以上85名

日本医師会生涯教育講座〈別表 3〉

【産婦人科】	
日 時	令和7年8月23日(土)14:30～17:00
会 場	名古屋サンスカイルームA室
共 催	愛知県産婦人科医会
司 会	愛知県産婦人科医会 理事 佐藤 剛
演題1	「②母体保護法の趣旨と適正な運用について」
講 師	愛知県産婦人科医会 理事 / 岩田病院 院長 岩田 浩輔
座 長	愛知県産婦人科医会 理事 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 産婦人科部長 荒川 敦志
演題2	「①臨床医が知っておくべき研究倫理」
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科次世代医療開発学 教授 神谷 武
座 長	愛知県産婦人科医会 理事 佐藤 剛
演題3	「③妊産褥期における脳卒中、高血圧の治療戦略：脳神経外科、脳神経内科を含む他科との連携」
講 師	大野レディースクリニック 院長 大野 泰正
参加者 82名	

【外科】	
日 時	令和7年8月30日(土)14:00～16:00
会 場	栄ガスビル 栄ガスホール
共 催	愛知県外科医会
司 会	愛知県外科医会 常任理事 河野 弘
座 長	愛知県外科医会 副会長 坂野 哲哉
演題1	「大腸疾患～内科的立場から～」
講 師	名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部 准教授・部長 中村 正直
座 長	愛知県外科医会 副会長 松崎 安孝
演題2	「“手術しなくても治る？”究極の低侵襲治療戦略nonoperative managementとロボット時代の最新直腸癌手術手技」
講 師	名古屋大学医学部附属病院 腫瘍外科 講師 小倉 淳司
参加者 23名	

【内 科】	
日 時	令和7年9月6日(土)14:00～16:00
会 場	名古屋サンスカイルームE室
共 催	愛知県内科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会 委員長 石川 進 愛知県内科医会 会長
演題1	「便秘の実態と最新の治療戦略」
講 師	愛知医科大学消化管内科 名誉教授 春日井 邦夫
演題2	「間質性肺炎診療からみる医療AIの現状と今後」
講 師	名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター 副センター長 古川 大記
参加者 29名	

【耳鼻咽喉科】	
日 時	令和7年10月18日(土)16:00～18:00
会 場	名古屋市医師会館 6階講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県耳鼻咽喉科医会 理事 三村 英也
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会 理事 星野 通隆
演 題1	「喘息治療の最新の話題 ～シームレスな治療を目指して～」
講 師	豊田地域医療センター 院長 / 藤田医科大学 名誉教授 堀口 高彦
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会 理事 三村 英也
演 題2	「頭頸部外科診療における最近の話題」
講 師	藤田医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任教授 楯谷 一郎
参加者22名	

【泌尿器科】	
日 時	令和7年10月25日(土)16:10～18:10
会 場	名古屋市医師会館 6階講堂
共 催	愛知県泌尿器科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会 委員 上平 修
演 題1	「筋層浸潤性膀胱癌に対する温存療法 ～全摘しなくても治せるがんとは～」
講 師	名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科 講師 木村 友和
演 題2	「もう一歩先へ ～RARPのブラッシュアップ～」
講 師	藤田医科大学 医学部 腎泌尿器外科 教授 高原 健
参加者30名	

【精神科】	
日 時	令和7年11月8日(土)14:00～15:30
会 場	愛知県医師会仮事務所 4階 401会議室
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会 委員 村瀬 聡美
演 題	「世代と国境をこえた『ひきこもり』 ー日仏における臨床経験からー」
講 師	名古屋大学総合保健体育科学センター 准教授 古橋 忠晃
参加者2名	

【小児科】	
日 時	令和7年11月30日(日)15:45～17:00
会 場	名古屋市医師会館 6階講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県小児科医会研修委員会 委員 田和 俊也
演 題	「子供の靴と足に関するチェックポイント」
講 師	塩之谷整形外科 院長 塩之谷 香
参加者39名	

【眼 科】	
日 時	令和8年1月24日(土)15:00～17:30
会 場	栄ガスビル 栄ガスホール
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県眼科医会 理事 杉田 威一郎
演 題1	「加齢黄斑変性2026」
講 師	杏林大学 眼科 准教授 片岡 恵子
演 題2	「RPE65関連網膜症と眼科疾患におけるはじめての遺伝子治療」
講 師	神戸市立神戸アイセンター病院研究センター 副センター長 前田 亜希子
参加者110名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表４〉

回数	開催日	テ ー マ	講師	参加者数
※1000	-	これだけは知っておきたい喘息治療の最新情報～ホー吸入を含めて～ (動画配信のみ)	豊田地域医療センター 院長 堀口 高彦	-
1001	5月13日	骨粗鬆症を知ろう！	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 准教授・診療科部長 南谷 千帆	106
1002	5月29日	泌尿器科領域における、最新のレーザー治療について	愛知医科大学 泌尿器科学講座 助教 梶川 圭史	106
※1003	-	お産の緊急時に備えて安心 帝王切開出産とは？ (動画配信のみ)	中部大学 生命健康科学部 保健看護学科 准教授・助産師 横手 直美	-
1004	6月30日	汗のおはなし ～汗が多い病気、汗が少ない病気～	愛知医科大学 皮膚科学講座 特任教授 大嶋 雄一郎	106
1005	7月16日	プレコンセプションケアと不妊症 ～未来の家族のために～	成田産婦人科 理事長・院長 伊藤 知華子	21
1006	8月27日	あなたの血圧、目標値をご存知ですか？	名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院 病院長 山下 純世	111
1007	9月18日	決して人ごとではない「うつ病と休職」そして職場復帰に向けたリハビリテーション(リワーク)の重要性	藤田メンタルケアサテライト徳重北 院長 奥山 祐司	62
1008	10月7日	こどもの感染症のトピックス	藤田医科大学岡崎医療センター 小児科 准教授 河村 吉紀	30
※1009	10月25日	わかりやすい関節リウマチ	慶応義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 教授 金子 祐子	216
※1010	11月1日	肩の痛みの原因と治療	独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター 整形外科部長・リハビリテーション科医長 竹内 聡志	38
※1011	11月9日	糖質制限って実際どうなの？	田島クリニック 院長 田島 義孝	100
※1012	11月15日	あなたのお悩み泌尿器科のお医者さんに聞いてみよう	成田記念病院 泌尿器科部長 小林 将貴 豊橋市市民病院 泌尿器科副部長 山本 晃之	53
1013	11月27日	じわりと増えている、食道がんの危険因子と治療方法について	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授 神田 光郎	93
※1014	12月6日	知っていますか？血糖と腎臓の関係性	成田記念病院 糖尿病専門医 濱野 邦久 成田記念病院 腎臓専門医 大林 孝彰	136

回数	開催日	テ ー マ	講師	参加者数
1015	12月11日	「がん」より怖い”心不全”3つの疑問～何が原因？予防できるの？治るの？～	愛知医科大学病院 病院長・循環器内科 教授 天野 哲也	112
※1016	12月21日	足はとても大事です	ホームケアクリニック赤池 院長 佐藤 俊充	340
1017	1月26日	失明原因の上位である糖尿病網膜症と軽症でも視力低下する糖尿病黄斑症	藤田医科大学 眼科 臨床教授 水口 忠	101
※1018	1月27日	アイフレイルって知ってますか？眼のチェックしてみましょう	へきなん中村眼科 院長 中村 将一朗	70
※1019	1月31日	健康寿命を延ばすための「けんしん」受診の勧め	岡崎市医師会公衆衛生センター はるさき健診センター センター長 山田 珠樹	112
※1020	2月15日	軟部腫瘍 ～体にできる「こぶ」の話～	岡崎市民病院 腫瘍整形外科 部長 新井 英介	52
1021	2月27日	沈黙の臓器“肝臓”を守るために ― 肝炎から肝がんまで	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科 准教授 本多 隆	102
※1022	2月28日	今日からできる便秘改善	日進胃腸科・外科 院長 早川 真人	298
※1023	3月1日	正しく知って、Stop肥満症！ 減量手術日記～それぞれの術後経過	岡崎市民病院 内分泌・糖尿病内科部長 /肥満症治療センター副センター長 瀧 啓吾 岡崎市民病院 内視鏡外科部長 /地域医療連携室長 /肥満症治療センター長 石山 聡治	49
※1024	3月7日	いつまでも自分の足で歩くために～命を支える骨を守る～	愛知医科大学病院 骨粗鬆症・ロコモ・関節疾患センター 教授 中村 幸男	92
1025	3月11日	頭頸部がんってどんな病気？一身近なところにある頭頸部がんのリスク	愛知医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 客員教授 古川 まどか	76

※印は地域開催

難病相談室取扱いケース内容〈別表 5〉

ケース数		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	158	9	23	61	14	33	15	13	117
	継続ケース	338	15	50	150	23	73	31	56	313
	計	496	24	73	211	37	106	46	69	430
		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計
	新規ケース	20	23	12	22	8	20	2	69	619
	継続ケース	7	68	21	23	6	23	3	27	1,227
	計	27	91	33	45	14	43	5	96	1,846

取 扱 い 内 容	アセスメント(重複)	
	疾病の背景要因の発見	64
	治療や療養生活への適応	1,349
	家族との関係や家族の生活	100
	住居等の社会生活	33
	就労支援	188
	医療・生活等の経済面	247
	社会復帰への受入れと適応	279
	医療機関利用	200
	その他	16
	合 計	2,476
	主なケースワーク措置	
	応急的援助	1
	背景調査	4
	相談面接	1,280
	関係調整	519
	制度利用	14
	施設利用	0
	グループワーク	27
	その他	1
	合 計	1,846

新規 ケース 紹介者	医療機関	31
	保健所・保健センター	65
	福祉事務所	3
	その他公的機関	62
	本人又は家族	151
	広報・ポスター等	132
	新聞・ラジオ・テレビ	1
	その他	174
	合 計	619

生命保険団体取扱状況調 〈 別表 6 〉

(令和8年3月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日 本 生 命	人 88	件 126	円 13,066,657
ジ ブ ラ ル タ 生 命	11	18	1,238,499
第 一 生 命	48	91	3,925,882
朝 日 生 命	16	26	1,154,584
明 治 安 田 生 命	41	56	2,807,980
大 樹 生 命	65	88	5,181,043
住 友 生 命	19	26	1,384,050
合 計	288	431	28,758,695

会館会議室等使用状況〈別表 7〉

仮事務所 (4月～3月)	会 場 名			件 数
	2 F	理 事 会 議 室		41
	3 F	医 師 信 役 員 会 議 室		36
	3 F	研 修 室		3
	4 F	401 会 議 室		96
	4 F	402 会 議 室		40
	4 F	403 会 議 室		14
	4 F	404 会 議 室		46
	4 F	405 会 議 室		46
	5 F	501 会 議 室		48
	5 F	502 会 議 室		0
	5 F	503 会 議 室		0
	合 計			370

決議

コロナ禍を経て、医療が社会インフラであることを国民は痛感した。しかし、それを支える社会保障費は「高齢化の伸びの範囲内(いわゆる目安対応)」に抑制され、効率化・重点化の名目で診療報酬も低く抑えられてきた。さらに、物価高騰と人件費上昇、顕著化する控除対象外消費税問題が医療機関経営を極度に圧迫し、大半の病院が赤字転落、倒産・休廃業件数は過去最多を更新している。

加えて、医薬品欠品の長期化や未整備の医療DXは、患者が安心して治療を受ける権利をも脅かしている。これらの諸問題を放置すれば、医療を基盤とする社会全体の持続可能性は根底から揺らぐことになる。

医師として、我々は日々、命の最前線で戦っている。患者・家族の期待の眼差し、重責と疲労、経営を守ろうとする焦燥感——これらはいずれも他人事ではない。このような状況だからこそ、医療の灯が消えかかっている現状を変えねばならない責務が我々にはある。

持続可能で安心できる社会インフラとしての医療を維持するため、今こそ医師一人ひとりが声を上げ、その力を結集すべき時である。

以上より、我々は将来にわたって国民の健康を守るため、下記のごとく決議する。

記

- 一、いわゆる目安対応を廃止し、賃金・物価の上昇に即応できる新たな診療報酬体系を検討せよ。
- 一、国主導による医薬品の安定供給体制を大至急確立せよ。
- 一、医療DX推進にあたり、現場への過度な負担を排除し、十分な環境整備をせよ。
- 一、社会保険診療等における消費税非課税制度の歪(ゆが)みを正す税制改革を断行せよ。

令和7年6月14日

愛知県医師会第199回(定例)代議員会

決議

医療・介護は公定価格で運営されているが、物価・賃金の急激な上昇に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定が追いついておらず、医科歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護事業所等は、著しく経営状況が逼迫しており、閉院や倒産が相次いでいる。

令和7年度最低賃金はプラス6%強、人事院勧告はプラス3.62%、また「骨太の方針2025」でも示された2025年春季労使交渉の平均賃上げ率は5.26%等となっているが、医科歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護事業所等は、とてもこれらに対応できるような状態ではない。

適正化等の名目により、医療・介護の財源を削って財源を捻出するという方法でこれ以上削減されれば、地域の医療・介護の崩壊は避けられない。

よって、国民、患者、利用者の健康を守り、さらには国民皆保険を堅持するため、以下の対応を求める。

1. 令和7年度補正予算での対応

医科歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護事業所等に対し、補助金と診療報酬・介護報酬等報酬の両面からの早急な対応を行うこと。

2. 令和8年度予算編成での対応

令和8年度診療報酬改定をはじめ、令和8年度予算編成において、賃金上昇と物価高騰、高齢化、医療の技術革新に対応した大幅なプラスとすること。

3. 財源を純粋に上乗せするいわゆる「真水」による大規模で根本的な対応

これまで適正化という名の下で社会保障費は削られ続けてきたが、あくまで財源を純粋に上乗せするいわゆる「真水」による思い切った緊急的な対策を行うこと。

以上、決議する。

令和7年11月20日

国民医療を守るための総決起大会

令和7年度事業報告書(令和7年4月～令和8年3月)には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 愛知県医師会